

部門費計算 第6問 問題

次の資料にもとづいて、(1) 部門費配賦表を作成し、(2) 第2次集計後の各部門費の金額を答えなさい。
なお、直接配賦法で配賦すること。

(配賦基準資料)

	合 計	切 削 部	組 立 部	動 力 部	修 繕 部	工場事務部
従業員数	80人	30人	20人	13人	8人	9人
修繕時間	3,100時間	1,000時間	1,300時間	800時間	—	—
動力提供量	24,000 kw	6,000 kw	9,000 kw	2,000 kw	4,000 kw	3,000 kw

(1)

部門費配賦表

(単位：円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		切 削 部	組 立 部	動 力 部	修 繕 部	工場事務部
第1次集計後 部門費	5,500,000	2,021,200	1,310,800	850,000	920,000	398,000
工場事務部門費						
修繕部門費						
動力部門費						
製造部門費						

(2)

(単位：円)

	合 計	切 削 部	組 立 部	動 力 部	修 繕 部	工場事務部
第2次集計後 部門費						

部門費計算 第6問 模範解答

(1)

部門費配賦表

(単位：円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		切 削 部	組 立 部	動 力 部	修 繕 部	工場事務部
第 1 次 集 計 後 部 門 費	5,500,000	2,021,200	1,310,800	850,000	920,000	398,000
工場事務部門費	398,000	238,800	159,200			
修 繕 部 門 費	920,000	400,000	520,000			
動 力 部 門 費	850,000	340,000	510,000			
製 造 部 門 費	5,500,000	3,000,000	2,500,000			

(2)

(単位：円)

	合 計	切 削 部	組 立 部	動 力 部	修 繕 部	工場事務部
第 2 次 集 計 後 部 門 費	5,500,000	3,000,000	2,500,000	0	0	0

【解説】

(1) 直接配賦法により、第1次集計後の補助部門費を製造部門にのみ配賦する。

工場事務部；配賦基準は従業員数

$$\text{切削部} ; \frac{398,000\text{円}}{30\text{人}+20\text{人}} \times 30\text{人} = 238,800\text{円} \quad \text{組立部} ; \frac{398,000\text{円}}{30\text{人}+20\text{人}} \times 20\text{人} = 159,200\text{円}$$

修 繕 部；配賦基準は修繕時間

$$\text{切削部} ; \frac{920,000\text{円}}{1,000\text{h}+1,300\text{h}} \times 1,000\text{h} = 400,000\text{円} \quad \text{組立部} ; \frac{920,000\text{円}}{1,000\text{h}+1,300\text{h}} \times 1,300\text{h} = 520,000\text{円}$$

動 力 部；配賦基準は動力提供量

$$\text{切削部} ; \frac{850,000\text{円}}{6,000\text{kw}+9,000\text{kw}} \times 6,000\text{kw} = 340,000\text{円} \quad \text{組立部} ; \frac{850,000\text{円}}{6,000\text{kw}+9,000\text{kw}} \times 9,000\text{kw} = 510,000\text{円}$$

(2) 第2次集計後部門費は、部門費配賦表の製造部門費の金額である。補助部門費は、第2次集計が終了すると0円となる。